



モエワ★カムイ

NO. **82**
DECEMBER 2011

○モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。

あさひやまどうぶつえんニュース ASAHIYAMA ZOO NEWS



もくじ

- ほくは、動物大使
その43ヒグマ
子育て編.....2.3
- 特集
どうぶつ図書館へいこう!.....4.5
飼育研究レポート
新・両生類・爬虫類館が
できるまで.....6
- 大西のらくがきちよう.....7
- 主なできごと.....8
- 編集後記.....8

ヒグマ
Ursus arctos

ぼくは、
動物大使
その43 **ヒグマ** ~子育て編~

ヒグマ

Ursus arctos

北アメリカ、ヨーロッパ、アジア北部、北海道に生息。クマ科の中で最も分布域が広い。旭山動物園にいるのは亜種エゾヒグマ。

森林開発による環境破壊や、乱獲により個体数が減少し、ヨーロッパではすでに絶滅してしまった地域もある。

生息域によって大きさに差があり、最大亜種のアラスカヒグマ(コディアックヒグマ)は体長約3m、体重約700kgに達する場合もある。

体

亜種エゾヒグマの場合

頭胴長155~230cm

体重150~230kg

メスはオスより少し小さい。

新生子は体長30cm、体重500gほど。

目

小さい。聴覚・嗅覚に比べると視覚は劣る。

成長

子は生後約1年半までは母親と共に過ごす。その後は単独生活となる。

耳・鼻

聴覚・嗅覚は鋭い。山でクマ鈴を身につけるのは、視覚よりも聴覚でこちらの存在を知らせるためだ。

どうしてくまぞうは別居なの？

野生のヒグマのオスは単独生活です。発情期に出会ったメスと交尾するだけで、メスと行動を共にしたり、子育てを手伝うことはありません。子育てするのは母親だけ。ヒグマには「父親」という概念が無いのです。

母子グマが雄グマに出会うと、雄グマは子グマを殺したり、食べてしまうこともあります。動物園でも、大や雪をくまぞうに合わせることは決してありません。

冷たく感じられるかもしれませんが、人とヒグマでは生活の仕方が全く違うのです。擬人化することなく、野生本来の姿で生きるヒグマたちをご覧いただきたいと思いません。

とんこの子育て年表

2010年

2011年

12月25日
とんこを産室に隔離

1月17日
3頭の子を出産



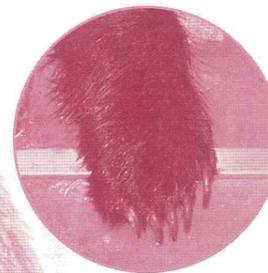
1月26日
子1頭事故死(圧死)

3月中旬
子の動き活発になる

4月24日
出産後初めて放飼場へ出す



5月4日
子の性別判定
オス1頭メス1頭



歯

雑食性。肉食のための鋭い犬歯と、草食のための平らな臼歯、両方を備えている。

足

長く鋭い爪をもつ。前脚は非常に器用で、後肢で立ちあがって物をつかんだり、木に登ることもできる。

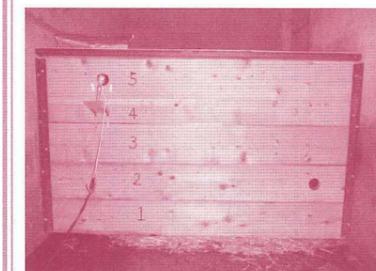
食べ物

雑食性で、フキやドングリなどの植物や、昆虫、サケなど何でも食べる。鳥類・哺乳類は死肉食が主で、捕食することは少ないとされる。

とんこの産室

野生下のヒグマは木の根元などに穴を掘り、冬ごもりをします。妊娠している雌グマは冬ごもり中に産出し、ほとんど飲まず食わずで子育てするのです。春、穴から出てくる頃、子は体重5kgほどまで成長し、逆に母グマは育児で消耗し痩せ細ってしまいます。

旭山動物園では産室の一部を改造して産室を作り、2010年12月からとんこを産室に閉じ込めました。出産・子育ての様子は飼育係が暗視カメラで観察・記録していました。また、来園者側にもモニターを設置して、子育ての様子を展示しました。



担当者手作りの産室。左上に暗視カメラが

悲願のヒグマ出産！

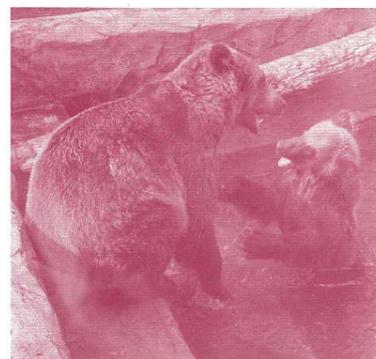
2011年、とんこの出産は、旭山動物園初のヒグマ繁殖となりました！

旭山で飼育されてきたヒグマたちは、すべて保護個体です。人里に現れた母子グマの母親が駆除され、子だけが動物園に保護されたのです。人間に親を殺されたくまぞうやとんこが動物園で子进行、現在、その子グマたちが来園者を楽しませているのは皮肉なことかもしれません。

彼らは単に「人を楽しませるため」だけに動物園にいるのではないと思います。自然と人の共存を訴えるために、自然界を代表して人間界にやってきた「動物大使」。そう思えてなりません。

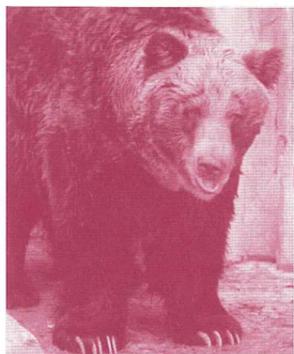
とんこ・大・雪の母子と同じように、今ごろ北海道の山奥でも、冬ごもりに入り出産に備える野生のヒグマがいることでしょう。わたしたちは、時には愛らしく、時には恐ろしい彼らと、北海道の大地で共存していかなければならないのです。

みなさんは動物園のヒグマ母子を見て、どのようなことを感じになりますか？

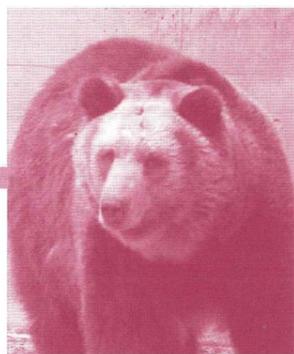


今ごろ山の中でも冬ごもりをするヒグマたちが…

あさひやまベアーズ2011



●くまぞう/オス(推定27才)
もうおじいちゃんといえる年齢だが、今年初めて子进行けた。



●とんこ/メス(推定12才)
おてんば娘も、今や2児の母。立派に子育て中です！



●大(ダイ)・オスと、雪(ユキ)メス(ともに0才)
2011年1月17日生まれの子。じかに見ると大のほうが少し身体が大きく腕も太い。しかし写真での判別は、まだ担当者でも困難です…。

特集

どうぶつ図書館へいこう! どうぶつ図書館の活動紹介

どうぶつ図書館は、園内の動物資料展示館の2階にあります。動物の絵本をはじめ、図鑑や児童書・絵本など、動物にまつわる本がズラーリ!(2011年9月現在で2000冊所蔵)。園内で動物を見たあとは、どうぞ、どうぶつ図書館へ!
どうぶつのフシギを探しにいこう!



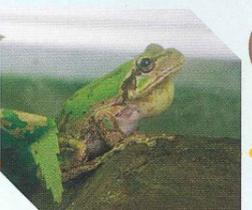
図書館スタッフの田嶋純子(左)と、堀田晶子(右)



図書館の中の様子は...



絵本は、動物ごとに
なっているよ。
めじるしは、
みんなのおしり。



身近でくらす
生き物たちも
いるんだよ!



●絵本の読み聞かせの会

毎月第2土曜日には、ボランティアの方々による、読み聞かせ会が開かれています。動物絵本を読んで、絵本に登場した動物を飼育展示係が解説。そして、その後は、みんなで動物観察(または、その動物をさらに詳しく知るための、何かが登場することも?!)。大人も子どももみ〜んな楽しめる、絵本の読み聞かせ会です。



獣医さんの動物解説。



ボランティアの方が、本を読んでくれます。



動物にふれあうことも...



たくさん参加してくれたお友達には表状が!

オリジナル紙芝居「あざらしたちのうみ」では、ゲンさんが奮闘!!



●なるほどガイド

えほん・かみしばい ときどき パネルシアター

昨年から、どうぶつ図書館でもなるほどガイド、はじめました。手づくり紙芝居や、パネルシアターなど、季節にあったものを行っています。時間はもぐもぐタイムの看板や、図書館前の看板で確認してみてくださいね!
次の新作は...どうぞおたのしみに!

旭川市内の保育園等にも
出前出張しています!



●動物園だより

2000年に創刊。
以来、動物園だよりの
発行数は170を越えて
います。



あさひやまどうぶつえん みこだより

2011年に創刊。
どうぶつクイズもあるよ
今月はどんなクイズかな?



●動物園だより・みこだより

動物園の様子やイベント情報などをお知らせする「動物園だより」、ちびっこ向けの「どうぶつえんみこだより」は、ご覧になっていますか?動物園のホームページでも見られるほか、旭川市内の小中学校や、市内の保育園や幼稚園などに配布しています。図書館や公民館でも掲示していますので、読んでみてくださいね。

どうぶつ図書館では、
創刊号から見られます。
旭山の歴史にふれて
みてはいかがでしょう?
どうぞお見逃しなく!



飼育研究レポート

新・両生類・爬虫類館ができるまで

両生類・爬虫類館がリニューアルオープンしてから、もうすぐ半年が経とうとしています。

身近にいるのに、なかなか観察する機会の少ないカエルやヘビをじっくり見てもらい、少しでも彼らの魅力を知ってほしい、そして彼らが自然の中で大切な役割をしていることを知ってほしいという思いから、身近なカエルやヘビを主役にしたと以前から考えていました。

「カエルやヘビは苦手だわ」という人は、多いと思います。そうした人にも、ちょっと見てみたくなるような工夫が必要です。ただ、いろんな種類を水槽に入れて並べても、「なんだ、ただのカエルか」で終わってしまう。種類に応じて、このカエルならこんな場所を好むから、こんなレイアウトにしよう！天敵が多い彼らには隠れる場所も用意して、安心できる場所も確保しなきゃなどいろんな工夫が必要です。

いよいよ、工事が終わり、オープンまでは約1か月。レイアウトをする段階になっていろんな問題点が出てきました。展示スペースには、人工的なものは隠し、できるだけ自然に近づけたかったのに…むき出しの水道管、不必要な場所までの防水加工、カメのプールはまるでサイコロ風呂…。ギ岩を防水セメントで作るにも、防水加工に弾かれてしまう…。レイアウトの第一歩は、ピカピカの防水加工に延々と紙やすりで傷をつけることから始まったのです…。セメントを練り、レイアウトに合う石や、木を探し求め、夜な夜な準備に追われる毎日でした。けれど、完成して、そこに生き物が入るところを想像し、自由に創り上げていく作業というのは最高に充実した楽しい仕事でした。

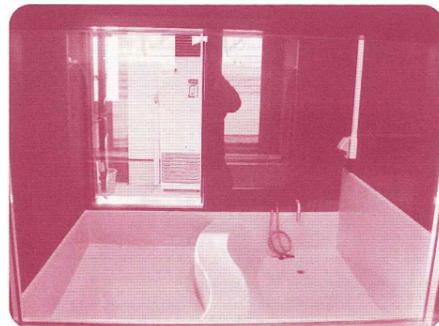
生き物が全て、新施設に引っ越しを終えたのは、開園2日前。パネルの完成は、当日の朝までかかり、ギリギリのオープンでした。

オープンしてからの、来園者の反応は上々です。親が子に「これがオタマジャクシだよ！」と教える姿、頭上のヘビに驚く人々、ドームからアマガエルの吸盤を裏側からみて喜ぶ子どもたち。隠れたカエルを探し、見つけて歓声をあげる親子。北海道産の両生類・爬虫類は、カラフルでも大きくもないけれど、見方ひとつですと面白い。彼らが好む環境を再現することによって、来園者が動物園から帰った後も、自分の身近に似た場所があれば、「ちょっと探して見ようかしら」なんて親子でカエル探してみるのも良いかもしれません。そして、自分の身近に彼らがいるのを見つけたら、「彼らがずっと安心してそこで暮らせるように」と、一人でも多くの方が思ってくれたら嬉しいです。カエルやヘビたちが安心して暮らせる環境は、彼らを餌にするキツネ、タヌキ、サギ、タカなどいろんな動物たちが安心して暮らせる未来に繋がります。動物たちが安心して暮らせる環境は、私たちヒトも安心して暮らせる環境に繋がります。そんな未来を、皆で目指していけたらと心から願っています。

(あざらし館・は虫舎 担当:白木 雪乃)



新施設ができるまでの仮住まい。



レイアウト前のピッカピッカの新居。



レイアウトの途中防水セメントをぬった後、ペンキで色をつける所。
※アザラシは坂東園長のイタズラ描き。



レイアウトの完成した新居。

大西のらくがきちょう

ちょっと息抜きに こんなページもありかなと思って描いてみました。
肩の力をぬいて ご覧下さい。

あさひやまのえち地図



主なできごと

《2011年》

- | | | | |
|------------|--------------------------------------|------------|--|
| 7月1日 | 44周年開園記念日 | 10日 | シロフクロウのペア、イギリスより入園 |
| 3日 | シロテテナガザルとキョンの同居再開 | 11月3日 | わくわくゲーム大会
市民感謝デー
夏期開園終了 |
| 8日 | ダチョウのメス入園(札幌市円山動物園より) | 18日 | ホッキョクグマ「サツキ」と「ルル」出産準備のため産室に入る |
| 20日 | オランウータン「モリ」右足大腿骨骨折 | 21日 | 冬期開園スタート
カラスヘビ(シマヘビ)2頭とコウライキジ4羽、滝川どうぶつランドより入園 |
| 31日 | エゾヒグマの子愛称決定
オス:大(だい) メス:雪(ゆき) | 11月24日 | ジェフロイクモザル「フミ」衰弱のため死亡 |
| 8月1~3日 | 第36回サマースクール開催 | 12月10日 | ペンギンの散歩 開始 |
| 7~21日 | 鳴き虫展開催 | 12月11日 | オーストラリアン・シェパード「しょう」肺の腫瘍により死亡 |
| 12~16日 | 夜の動物園 | 12月13日 | アライグマ4頭搬出 |
| 31日 | オランウータン「モリ」ギブス外れる | 12月13日・14日 | 北海道ブロック会議(旭山動物園) |
| 9月5日 | 「旭川市と酪農学園大学の包括的な連携と協力に関する協定」を締結 | 12月16日 | バセットハウンド「セロリ」肝臓の腫瘍により死亡 |
| 9月7日~11月3日 | 外来生物の現状展2011開催 | 12月27日 | カバ「ゴン」老衰のため死亡 |
| 10月8・9日 | 知床財団との連携企画「知床ヒグマわくわくウィーク エンドシーズン3」開催 | | |

【外来生物展クイズラリー2011 正答発表!】

今年も「外来生物展クイズラリー」たくさんのご参加ありがとうございました! 投票数470、全問正解は212。全問正答率45%でした。模範解答を発表させていただきます!

Q1 は虫類舎で展示しているアズマヒキガエルの数は?

答え: 6匹

Q2 ヤギが家畜化されたのは今からどれくらい前のこと?

答え: 約1万年前~1万2千年前

Q3 アライグマの前足の指の数は?

答え: 5本 (両手で10本でも正解)

Q4 次のうち北海道の外来生物は?

答え: ②カブトムシ

Q5 外来生物問題の最大の原因は?

答え: 人 (人による持ち込み などでも正解)

<外来生物展へのご意見・ご感想>

- ・レポートのように1つ1つ丁寧に、強い思いが伝わってきました。(金沢市Fさん)
- ・毎年やっていますが、来るたびにバージョンアップしていて何度見ても新しい発見があって楽しめます。来年もきたいしてます!(旭川市Kさん)
- ・アライグマをまなぶかいはおはなしをきいてタヌキがかわいそうだとわかりました。(旭川市Kちゃん)
- ・色々、図書かんのお姉さんが、せつめいしてくれてありがとうございました(土別市Oちゃん)
- ・2才になる息子とききました。まだ小さいけれど、難しい事だけれど、大事な問題なので、今後学ぶ機会を与えたいと思っています。(東京都さん)
- ・他にもたくさんのご意見・ご感想をいただきました。みなさんありがとうございました!

モユクカムイのご感想をお寄せください

あなたはモユクカムイを読んでどのようなことをお感じになりましたか? ご意見・ご感想をお寄せください。抽選で記念品を差し上げます。

宛先

〒070-8205 北海道旭川市 東旭川町倉沼
旭川市旭山動物園「モユクカムイ編集部」行き

編集後記

動物図書館のお話は以前から、ぜひとも載せたいと思っていました。図書館は今、職員2人の熱意でさまざまな新企画を行っているホットスポットです!

あさひやまという、メディアでもしばしば取り上げられているイメージかもしれませんが、でも現場での、職員個人の努力や工夫はなかなか報道されることはありません。あさひやまの本当の良さは、「職員がそれぞれ自分の城(担当)を持ち、それぞれの熱意と手作りの工夫で盛り上げていく」という所にあるんですけどね。新施設ができて、それで完成ではない。むしろそこから、担当者腕の見せどころです!

モユクでは今後も、現場の「イイ仕事」をみなさんにお伝えしていきます!

(大西)

モユク・カムイ No.81 平成23年12月31日

発行所 旭川市旭山動物園 〒070-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104

発行 坂東元 <http://www5.city.asahikawa.hokkaido.jp/asahiyamazoo/>

編集委員 中田真一・畠山淳・大西敏文

佐賀真一・田嶋純子・堀田晶子

印刷 株式会社アドス・エージェンシー

〒070-0042 旭川市中常盤町1丁目 ☎0166-22-2794

飼育動物数 (平成23年11月末現在)

- 哺乳類……………42種……………252点
- 鳥類……………73種……………403点
- 爬虫類……………8種……………21点
- 合計……………123種……………676点